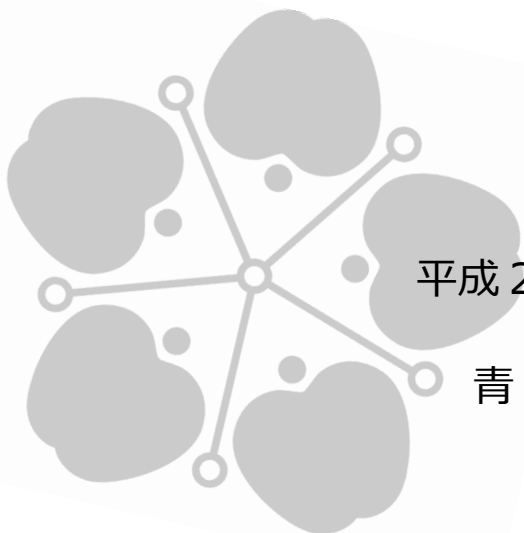


**平成27年度
青森県男女共同参画に関する意識調査
報告書**



平成28年3月

青森県

目次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 報告書のみかた	3

II 調査結果の概要

1 男女平等に関する意識	
1.1 各分野の男女の地位の平等感	4
1.1.1 家庭生活における男女の地位の平等感	6
1.1.2 職場における男女の地位の平等感	10
1.1.3 学校教育の場における男女の地位の平等感	14
1.1.4 政治の場における男女の地位の平等感	18
1.1.5 法律や制度の上での男女の地位の平等感	22
1.1.6 社会通念・習慣・しきたりにおける男女の地位の平等感	26
1.1.7 自治会や NPO、ボランティアなどの地域活動の場における男女の地位の平等感	30
1.2 社会全体における男女の地位の平等感	34
2 家庭における役割	
2.1 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるか	38
2.2 家庭における夫婦の役割分担（現実）	42
2.3 家庭における夫婦の役割分担（理想）	46
2.4 男性が家事・子育て・介護に参加するために必要なこと	50
3 女性の活躍推進	
3.1 女性の働き方の理想	56
3.2 女性が増える方がよいと思う職業や役職	60
3.3 女性の活躍を進めるに際しての障害	66
3.4 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと	72
4 仕事と生活の調和	
4.1 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度（理想と現実）	79
4.2 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に必要な企業の取組	87

5	男女間における暴力	
5.1	配偶者からの暴力の被害経験	94
5.1.1	身体的暴行の被害経験	98
5.1.2	心理的攻撃の被害経験	102
5.1.3	経済的圧迫の被害経験	106
5.1.4	性的強要の被害経験	110
5.2	配偶者からの暴力の被害相談	114
5.3	配偶者からの暴力の被害相談をしなかった理由	120
5.4	男女間の暴力を防止するために必要なこと	126
6	防災・復興	
6.1	性別に配慮した防災・復興に必要なこと	132
7	男女共同参画に関する行政への要望	
7.1	男女共同参画に関する行政への要望	139
Ⅲ	調査票	147

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、男女共同参画に関する県民の意識や実態を把握し、次期（第4次）あおり男女共同参画プラン2-1の策定の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画社会の実現に向けた施策の参考資料とする。

2 調査の設計

(1) 調査対象

県内に在住する満20歳以上の男女 2,000人

(2) 標本数及び抽出方法

住民基本台帳をサンプリング台帳とした層化二段無作為抽出法

県内を6地域に区分し、標本数を県の総人口比から各地域に配分する。すべての市及び各地域1町村を抽出地点とし、人口比に応じて市と町村（郡部分）の標本数を配分する。（平成27年1月1日住民基本台帳人口による。）

地域	区分	該当市町村	人口	標本数
東青地域	市	○青森市	295,898	436
	町村	○平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町	24,875	37
中南地域	市	○弘前市	178,886	264
		○黒石市	35,399	52
		○平川市	32,828	49
	町村	西目屋村、○藤崎町、大鰐町、田舎館村	35,776	53
三八地域	市	○八戸市	237,550	351
	町村	三戸町、五戸町、田子町、○南部町、階上町、新郷村	72,259	107
西北地域	市	○五所川原市	58,109	86
		○つがる市	35,036	52
	町村	鱒ヶ沢町、深浦町、○板柳町、鶴田町、中泊町	60,842	90
上北地域	市	○十和田市	64,041	95
		○三沢市	41,486	61
	町村	野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、○おいらせ町	101,526	150
下北地域	市	○むつ市	61,568	91
	町村	大間町、○東通村、風間浦村、佐井村	17,257	26
合計			1,353,336	2,000

※ ○は該当市町村

(3) 調査方法

調査票によるアンケート調査（郵送調査法）

(4) 調査時期

平成 27 年 10 月 23 日（金）から 11 月 5 日（木）まで

(5) 調査項目

調 査 項 目		参考となる先行調査（※）	
		青森県	国
1 男女平等に関する意識			
問 1	男女の地位の平等感	A-1（問 1）	B-11（問 1、2）
2 家庭における役割			
問 2	夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるか	B-1（問 2）	A-11（問 7） A-12（問 1）
問 3	家庭における夫婦の役割分担（現実）	A-1（問 5）	
問 4	家庭における夫婦の役割分担（理想）	A-1（問 6）	
問 5	男性が家事、子育て、介護に参加するために必要なこと	B-1（問 4）	A-11（問 10）
3 女性の活躍推進			
問 6	女性の働き方の理想	A-1（問 7）	B-11（問 4）
問 7	女性が増える方がよいと思う職業や役職		A-11（問 3）
問 8	女性の活躍を進めるに際しての障害		A-12（問 4）
問 9	女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと	B-1（問 8）	A-12（問 7）
4 仕事と生活の調和			
問 10	仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度（理想と現実）	A-1（問 17）	A-11（問 8）
問 11	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）に必要な企業の取組	A-1（問 19）	
5 男女間における暴力			
問 12	配偶者からの暴力の被害経験	B-1（問 13）	A-13（問 5）
問 13	配偶者からの暴力の被害相談	B-1（問 14、15）	A-13（問 6）
問 14	配偶者からの暴力の被害相談をしなかった理由	B-1（問 16）	A-13（問 7）
問 15	男女間の暴力を防止するために必要なこと		A-13（問 35）
6 防災・復興			
問 16	性別に配慮した防災・復興に必要なこと		
7 男女共同参画に関する行政への要望			
問 17	男女共同参画に関する行政への要望		A-11（問 14）

※ A = ほぼ同じ内容があるもの

B = 類似する内容があるもの

番号	調査名	実施主体	調査時期	調査対象	標本数	調査方法	回収率
1	青森県男女共同参画に関する調査	青森県 (青少年・男女共同参画課)	H21.7	県内20歳以上の者	3,000	郵送調査	39.6%
11	男女共同参画社会に関する世論調査	内閣府 (大臣官房政府広報室)	H24.10	全国20歳以上の者	5,000	個別面接聴取	60.7%
12	女性の活躍推進に関する世論調査	内閣府 (大臣官房政府広報室)	H26.8	全国20歳以上の者	5,000	個別面接聴取	60.7%
13	男女間における暴力に関する調査	内閣府 (男女共同参画局)	H26.12	全国20歳以上の者	5,000	郵送留置訪問回収	70.9%

(6) 回収結果

有効回答数（率） 668 人（33.4%）

(7) 回答者の属性

区 分	人 数				総数に占める割合				
	合計	女性	男性	無回答	合計	女性	男性	無回答	
総数	668	390	270	8	100.0%	58.4%	40.4%	1.2%	
性別	女性	390	0	390	0	58.4%	0.0%	58.4%	0.0%
	男性	270	270	0	0	40.4%	40.4%	0.0%	0.0%
	無回答	8	0	0	8	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%
年齢別	20～29歳	50	27	22	1	7.5%	4.0%	3.3%	0.1%
	30～39歳	80	50	30	0	12.0%	7.5%	4.5%	0.0%
	40～49歳	129	83	45	1	19.3%	12.4%	6.7%	0.1%
	50～59歳	131	85	46	0	19.6%	12.7%	6.9%	0.0%
	60～69歳	154	87	67	0	23.1%	13.0%	10.0%	0.0%
	70歳以上	113	54	55	4	16.9%	8.1%	8.2%	0.6%
	無回答	11	4	5	2	1.6%	0.6%	0.7%	0.3%
配偶者の有無別	いる	471	274	197	0	70.5%	41.0%	29.5%	0.0%
	いない（未婚）	102	55	47	0	15.3%	8.2%	7.0%	0.0%
	いない（離・死別）	89	61	26	2	13.3%	9.1%	3.9%	0.3%
	無回答	6	0	0	6	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%
職業別	自営業主	50	15	35	0	7.5%	2.2%	5.2%	0.0%
	家族従業者	26	19	7	0	3.9%	2.8%	1.0%	0.0%
	会社・団体役員	76	35	41	0	11.4%	5.2%	6.1%	0.0%
	給与所得者	186	97	88	1	27.8%	14.5%	13.2%	0.1%
	パート・アルバイト	103	82	21	0	15.4%	12.3%	3.1%	0.0%
	学生	3	1	2	0	0.4%	0.1%	0.3%	0.0%
	専業主婦（主夫）	75	72	1	2	11.2%	10.8%	0.1%	0.3%
	無職	126	57	67	2	18.9%	8.5%	10.0%	0.3%
	無回答	23	12	8	3	3.4%	1.8%	1.2%	0.4%
子どもの有無別	いる	495	299	191	5	74.1%	44.8%	28.6%	0.7%
	いない	158	86	71	1	23.7%	12.9%	10.6%	0.1%
	無回答	15	5	8	2	2.2%	0.7%	1.2%	0.3%
地域別	東西地域	183	109	73	1	27.4%	16.3%	10.9%	0.1%
	中南地域	124	56	67	1	18.6%	8.4%	10.0%	0.1%
	三八地域	149	94	52	3	22.3%	14.1%	7.8%	0.4%
	西北地域	63	40	23	0	9.4%	6.0%	3.4%	0.0%
	上北地域	104	67	37	0	15.6%	10.0%	5.5%	0.0%
	下北地域	36	21	14	1	5.4%	3.1%	2.1%	0.1%
	無回答	9	3	4	2	1.3%	0.4%	0.6%	0.3%

3 報告書のみかた

- ・ 調査結果は回答率（%）で示している。母数はその質問項目または回答者属性分類に該当する集計対象者数（回答者総数）であり、「n」で示している。
- ・ 母数には無回答を含んでいる。
- ・ 回答率（%）は小数点以下第2位を四捨五入していることから、合計値が100%にならない場合がある。
- ・ 1人の回答者が1つの質問で複数の選択肢を選べる設問の回答率については、集計対象者数を母数としているため、合計値「MT」が100%を超えている。